

R4年度ダブルス選手権大会実施におけるガイドライン

1 大会開催への配慮及び準備に関する留意事項

- (1) 大会関係者について
 - ・大会参加者は、選手、指導者、競技役員、補助員とする。
 - ・補助員は、参加選手の所属する中学高校の部員とする。
 - ・参加チームは、様式1の「健康状態確認シート」の提出を義務とする。
 - ・様式2は、チームで記録しておき、主催者からの求めに
 - ・チームに所属していない者は、様式2のみ提出すること。
 - ・大会関係者は常時マスクを着用する。（試合時以外）
- (2) 会場内使用する物品について
 - ・アルコール消毒を行ってから会場に入り、また試合の前後にも行う。
 - ・タオル、飲み物を入れる袋を持参してもらい物品入れは使用しない。
- (3) 式典等
 - ・開会式は、十分な間隔をとり、競技上の注意などにとどめ、短時間で行う。
 - ・閉会式は、表彰のみとする。
- (4) 大会会場内に関する確認及び準備
 - ・遮光性を考慮しつつ極力ドアを開放し大会を行う。
 - ・開場時に人数を区切って入場させる。
 - ・下駄箱の利用を禁止する。
 - ・選手席エリアを設け、割り当てられたエリア内での観戦とする。
- (5) 競技会場
 - ・コーティングシートは1席とする。ゲーム毎でエンドを入れ替える。
 - ・コートのもップ掛けは毎試合後行う。
- (6) 競技関係者及び協議中の確認事項
 - ・審判はマスクを着用する。（水分を補給を促し熱中症対策を講じる）
 - ・選手同士や審判との握手は行わない。
 - ・トスは間隔をあけて行う
 - ・コールは必要最小限で行う。
 - ・シャトルの交換は主審の許可を得て選手が自分で行う。
- (7) ごみの処理
 - ・各自の持ち帰り自宅で処分する。
 - ・大会運営上発生したゴミはマスク・手袋を着用した上で回収し、破棄する。

(8) 観客について

- ・保護者および家族の入場を認める。
来場者は、様式3「来場者 健康状態確認シート」を提出すること。
- ・来場者自身が見の回りや施設器具の消毒、衛生管理を行う。
- ・常時、マスクやフェイスガードを着用する。（熱中症対策を講じる）
- ・下駄箱の利用を禁止する。
- ・ごみは各自持ち帰り、自宅で処分する。
- ・観客と競技者の座席を明確に分ける。座席は指定された場所とし、間隔を取りながら使用する。よって、座席を移動しての応援は認めない。
- ・声をあげての応援は行わない。

2 大会参加者及び来場者に関する留意事項

- (1) 健康状態確認シート（自宅で検温後、当日朝記入）を提出する。
参加チーム：様式1を提出し、様式2をチームで保管。
参加者（チームなし）：様式2を提出する。
来場者：様式3を提出する。
- (2) 棄権の場合は来場せず、協会事務局へ連絡すること。
チームでエントリーしている場合は、代表者がこれを報告すること。
- (3) 外履きは袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- (4) 試合時以外はマスクを着用する。
- (5) 座席は、指定された場所に着席し、間隔を取りながら使用する。
- (6) 声をあげての応援は行わない。
- (7) ウォーミングアップは間隔をあけて行う。
- (8) コートサイドにかごは設置しないので自分でバックに入れて飲み物等は持参する。
- (9) ラケット・タオル等の用具の貸し借りはしない。
- (10) 床の汗拭きは、モップを使用する。
- (11) 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- (12) 意識的に試合中の声出しはしない。
- (13) プレイヤー同士やコーチとのハイタッチ等の接触を行わない。
- (14) コーチングは一定の距離を取り、必要最小限に短時間で行う。
- (15) 自分の試合、敗者審判が終了した場合は、原則速やかに帰宅する。